

下肢静脈瘤治療のご案内



※高周波（ラジオ波）治療機器

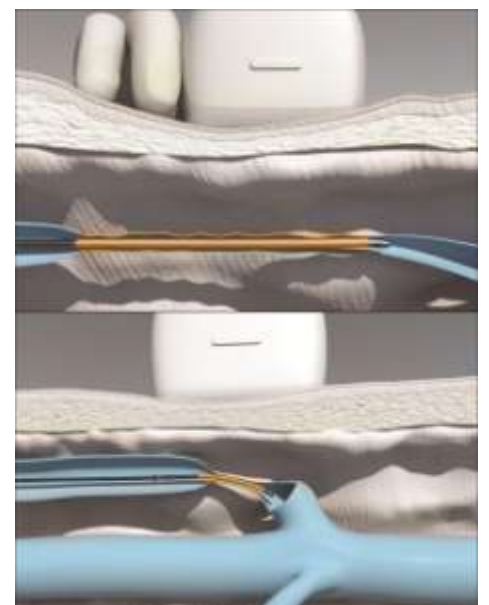
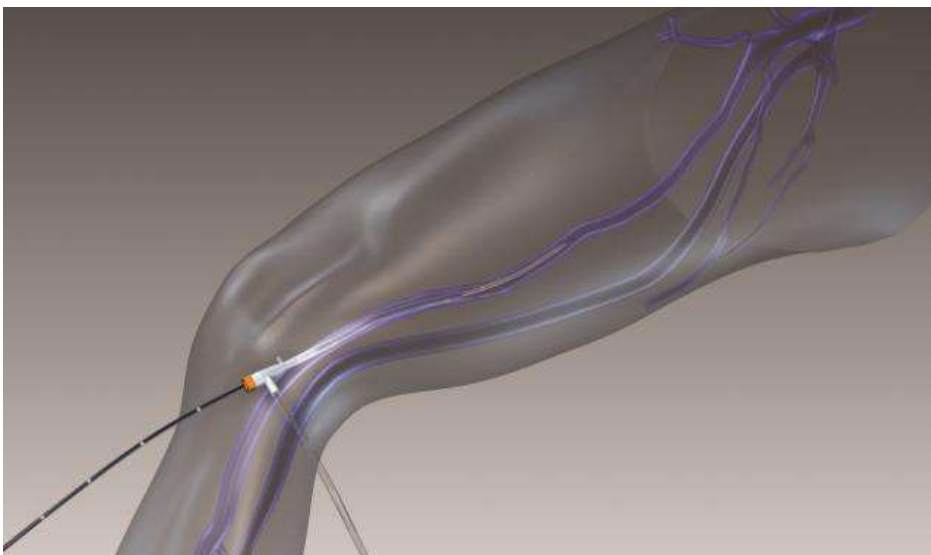
COVIDIEN 社製

平成 27 年 9 月より
血管内焼灼高周波（ラジオ波）治療を始めました！

血管内焼灼高周波（ラジオ波）治療とは？

血管内焼灼高周波（ラジオ波）治療とは、下肢静脈瘤の治療として海外で多く実施されている治療法の一つで、全世界で 100 万件以上の治療実績があり、日本でも平成 26 年 6 月より保険適応となりました。

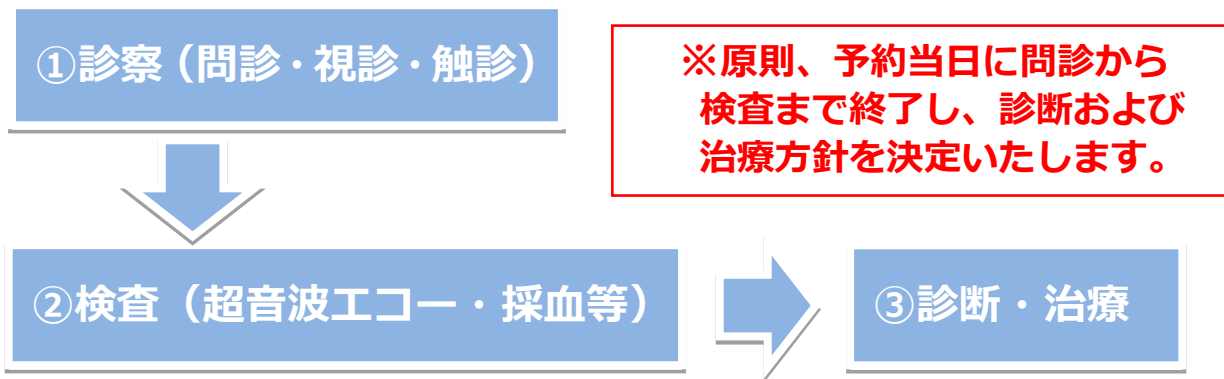
手術方法は、皮膚に開けた小さな開口部から高周波アブレーションカテーテルを血管内（静脈内）に挿入し、カテーテルから放出される高熱により血管内の病変部を焼ききる治療法です。



血管内焼灼高周波(ラジオ波)のメリットは？

- ① 2泊3日の短期滞在手術が可能。
- ② 手術時間は、60分程度と短い。
- ③ 傷跡がほとんど残らず目立たない。
- ④ 従来の外科的治療と比べ、術後の皮下出血量が少なく痛みが少ない。

受診の流れ ※心臓血管外科外来は予約制になります。



下肢静脈瘤担当医：数野 圭 (心臓血管外科)

- ・日本心臓血管外科学会専門医
- ・日本血管外科学会血管内治療専門医
- ・日本静脈学会レーザー治療実施医

医師より一言

下肢静脈瘤で、お困りの方は一度ご相談ください。

可能な限りラジオ波での低侵襲治療を心がけています。



～下肢静脈瘤ってなに？～

下肢の静脈が太く浮き出ているものを下肢静脈瘤と言います。下肢の静脈の弁が壊れ、血液が静脈内に停滞してしまい広がってしまうことで静脈瘤になります。

主な症状としては、下肢のむくみ・だるさ・下肢がつるなどがあり、時間の経過とともに色素沈着や皮膚潰瘍ができたりもします。



医療法人
社団明芳会

板橋中央総合病院 心臓血管科外来(D館1階)
TEL: 03-3967-1181(代表)